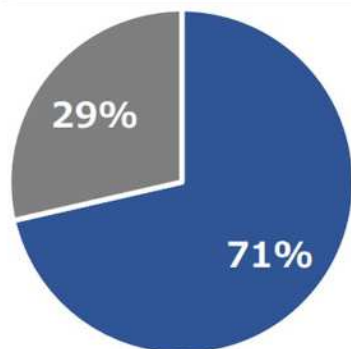


事業者の皆様の声をかたちに！電子請求サービスの利用開始

事業者のニーズ調査で要望が多かった「請求書や見積書等の電子化」を実現するため、7月1日より電子請求サービス「Haratte（ハラッテ）」の利用を開始します。

※ Haratteとは株式会社AmbiRise（アンブライズ）が提供する、自治体向けの電子請求サービス

事業者の声



R6年度事業者ニーズ調査
(n=49社)

- 無料であれば利用したい
- 利用したいと思わない

ニーズ調査において、**7割以上**が請求書や見積書等の電子化を求めている

- ✓ 請求書等の印刷を無くしたい
- ✓ 郵送料・郵送負担を軽減したい
- ✓ 来所せずに請求書等の提出がしたい
- ✓ 事業者側の押印を省略したい

これまでの課題

事業者

- ・紙の請求書の提出における作業工数の多さ（印刷、押印、封入、郵送、持参）
- ・郵送費や紙代などのコストが発生
- ・記載漏れや記載誤りの発生

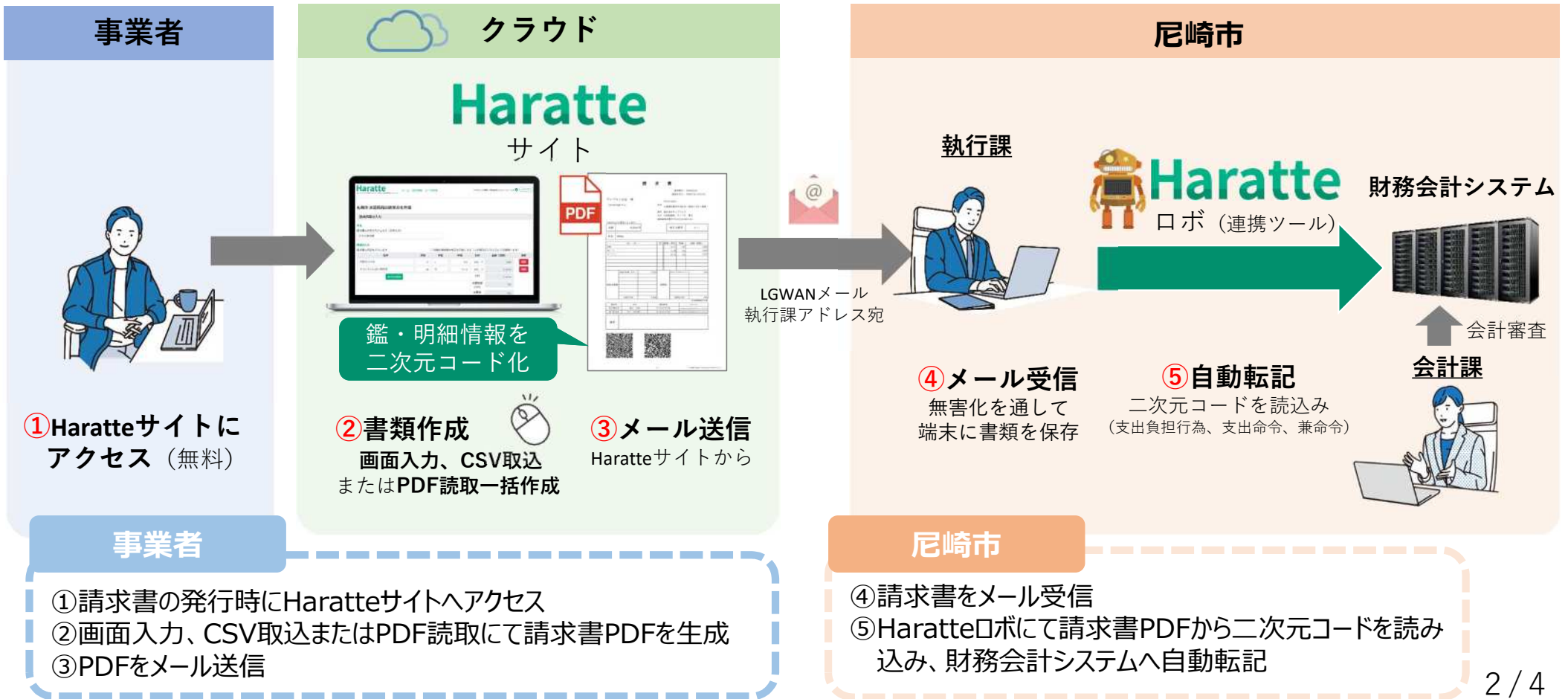
尼崎市

- ・紙の請求書の受領・確認における事務負担
- ・財務会計システムへの手入力や検算に伴う事務処理ミスと作業負荷の発生

これまでの紙ベースでの請求書等のやり取りは事業者・尼崎市双方にとって負担

電子請求サービス「Haratte」で実現できること

事業者は**完全無料**でPCから簡単に請求書等の発行・提出が可能となります。
WEB上で請求書等を作成し本市へ提出できるため、**印刷・押印・郵送・持参が不要**となります。



事業者・自治体双方に広がる導入効果

請求書等の紙発行手続きを不要とすることで、事業者の利便性向上と自治体の事務効率化を同時に実現します。

事業者

- 印刷・押印・封入・郵送・持参が不要
- 郵送費や紙代等の経費を削減
- 来庁不要で請求手続きが完結
- 記載漏れや転記ミスを防止
- 経理事務全体の効率化

尼崎市

- 紙の請求書の受領・確認にかかる事務負担を軽減
- 財務会計システムへの自動転記による入力業務の省力化
- 手入力の削減で事務処理ミスを軽減
- 請求受付から支払事務までの流れを効率化

請求書発行の電子対応を契機に、地域のデジタル化を促進

「会計DX」の実現に向けた今後の展望

引用：あまがさき共創DXプラン2.0

今回の「電子請求」は会計DXの実現に向けた第一歩です。今後、「電子契約」、財務会計システム更改による「電子決裁」導入の3段階で、**地域も含めたDX、ペーパーレス、スマートワーク環境の実現**を目指します。

